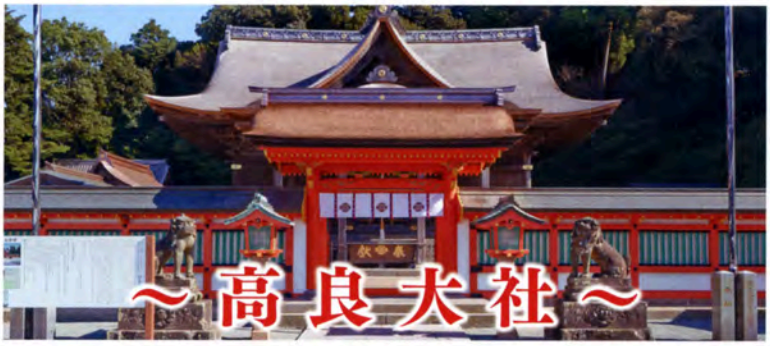
九歴だより

No.50
2019.10

久留米の魅力 再発見!

特別展『久留米ーその歴史と文化ー』

会期：令和元年 10月12日(土)～12月8日(日)



筑後を代表する霊山である高良山は、耳納山地の西端に位置し、その眼下には雄大な筑後平野と筑後川を一望することができます。その中腹に鎮座するのが高良大社です。同社は、古代より式内社として朝廷の崇敬が厚く高い神階を与えられ、また、筑後国一之宮として地域の人びとの信仰を集めました。その信仰は、神功皇后伝承や八幡信仰と深いつながりをもっています。そのことを示すのが高良大社に伝わる縁起です。2mを超える大幅の高良大社画縁起の説話図には神功皇后を助けて活躍する高良神の姿が描かれています。また、高良山を描いた社頭図では、山内に社殿・仏堂が建ち並ぶ神仏習合の様子や門前町の賑わいを見ることができます。

一方、高良山は筑後・肥前を見渡せる好立地であることから、古代には神籠石式山城が築かれ、南北朝および戦国時代には北部九州を手中に収めようとする権力者の軍事的な拠点とされました。高良大社には豊臣秀吉や大友宗麟をはじめとした戦国武将の文書も大切に伝えられています。江戸時代には久留米藩の手厚い保護をうけ、社殿の建立が行われます。現在の社殿は第3代藩主有馬頼利の寄進によるもので、国の重要文化財に指定されています。本展では、高良大社に伝わる宝物を通じて、筑後第一の霊山である高良山の歴史をたどります。

あわせて、明治時代の神仏分離で山を下りた仏像も展示し、かつての神仏習合の世界を再現いたします。特に高良玉垂宮の本地仏であり、現在福聚寺に安置されている十一面観音・阿弥陀如来・釈迦如来の3像は、本来、60年に1度の御開帳の秘仏ですが、今回、特別にご出品頂けることになりました。

現在、久留米市では平成29年（2017）より、高良山を対象に文化財の状況把握と保存活用を目的として、高良大社所蔵の歴史資料や美術工芸資料などの総合調査を実施しています。それにより高良大社の歴史や文化を知る上での基礎資料が整いつつあります。

阿弥陀如来立像

十一面観音立像

釈迦如来立像

本年8月25日には、久留米市内で第9回九州山岳霊場遺跡研究会（事務局：九州歴史資料館）が開催され、「高良山と高良大社」をテーマに考古学・美術史・民俗学・文献史学など幅広い分野から研究報告が行われました。特別展「久留米－その歴史と文化－」は、それらの最新の調査・研究成果を盛り込んだ展示内容となっております。「高良大社とゆかりの宝物」をはじめ「久留米の地宝」「神子栄尊－久留米生まれの入宋僧－」「近代洋画と久留米」「久留米の伝統工芸」の5つのテーマから久留米の歴史と文化について紹介します。

学芸員いちおし 資料紹介

第1章 久留米の地宝

隈山2号墳出土 銀製くちなし玉

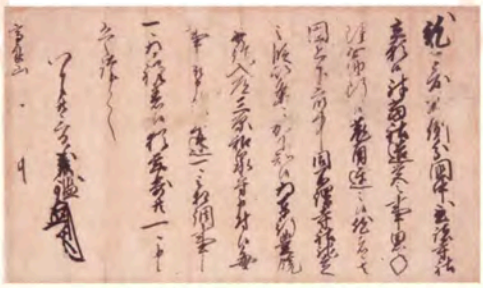
隈山古墳群は古墳時代後期（6世紀後半）の古墳群で、本資料は2号墳から出土しました。クチナシの木の実のような形をしており、銀製です。九州三例目で畿内有力者との関係が想定される逸品です。

久留米市教育委員会蔵

第2章 高良大社とゆかりの宝物

福岡県指定文化財 大友宗麟継目 安堵朱印状

これは大友宗麟が高良社の大祝職を鏡山保常から子の十郎（安真）へ相続することを認めた文書です。高良山は交通の要衝であり、筑後国を支配しようとする武将たちの争奪の場であったことがよくわかります。



安土桃山時代・16世紀（年未詳）12月6日
高良大社所蔵

第3章 神子栄尊 －久留米生まれの入宋僧－

福岡県指定文化財 神子栄尊坐像

鎌倉時代　朝日寺蔵

檜の寄木造りの木像で、写実的な頭部や鎖骨周りの描写は、禅師の面影をよく伝えているといわれています。

第4章 久留米の近代洋画

坂本繁二郎「放水路の雲」

「放水路の雲」は、仏留学から帰国した坂本繁二郎が久留米の風景を描いた作品で、久々に日本の自然にふれた感動が表されています。

油彩、カンヴァス　大正13年（1924）
久留米市美術館蔵

第5章 久留米の伝統工芸

久留米ガラス藍被せ幾何学文デカンター

明治から始まり戦後すぐにその姿を消した「久留米ガラス」は、戦前にはその生産が西日本随一となり、その名をはせました。薩摩切子風の文様が優美な逸品です。

明治～大正
久留米市教育委員会蔵

九歴名品探訪 vol.9

❖石垣山観音寺8号経塚出土 銅製経筒

久留米市田主丸町にある石垣山観音寺の旧境内地には、平安時代の終わり頃に複数の経塚が造られており、その内の1基に納められていました。

本経筒は青銅製で、筒身を一体構造で鋳造し、底板は別に作ってはめ込まれています。蓋は平面が六角形で花のような形をしています。宝珠形の撮みを持ち、ガラス製の小玉で装飾されています。経筒の中には般若心経と法華経一部八巻の写経が納められていました。

経塚の一大造営地として著名な四王寺山で良く見られる銅製の経筒と同じ型式で、類品には重要文化財に指定されている宝満山経塚（A経塚）出土銅製経筒や、重要美術品の伝四王寺山経塚出土銅製経筒などがあります。高さと口径のバランスが良く、ガラス小玉による装飾も相まって、優美な印象を与える作品です。

文化財サイエンス・ラボ
Study 9

九州北部豪雨で被災した書籍の応急処置

平成29年7月九州北部豪雨においては、特に朝倉市で大きな被害が発生し、文化財も多数、被災しました。当館では被災した文化財のうち、古文書等紙資料の応急処置を行っていますが、2年たった今、少しずつ処置を終えています。

今回は、処置を終えた資料の中から、江戸時代の書籍の応急処置についてご紹介したいと思います。

写真1　固着したページを展開する作業の様子

豪雨の数日後、ある個人宅から、レスキューの要請を受け、甘木歴史資料館の職員が、現地に向かいました。そこは三奈木黒田藩と関係があるお宅で、江戸時代に作成された、家の由緒や、関係した黒田家の由緒が書かれた書籍が被災していました。これらは一家の歴史を紐解くことに留まらない、三奈木の歴史を知る上で重要になる資料でした。

そこで、応急処置を施すため、当館に搬送されてきました。搬送直後の状態は、ひどく水に濡れた状態でした。この時期は梅雨の期間でしたので、何もせず放置しておくと腐敗する恐れやカビが発生し、書籍を汚損してしまう危険がありました。このような被災した書籍に生じるカビは、私たちの身体にもアレルギー症状を引き起こす危険性が知られています。書籍にも私たちにも有害なカビの繁殖は防がなくてはなりません。また、逆に乾燥による変形にも気をつけなくてはなりません。

応急処置は、まず、水濡れの状態のまま冷凍庫に入れ、マイナス80度下で急速に冷凍保存しました。これにより一時的に腐敗やカビの繁殖や腐敗を防止できます。

次に、常温で保管できる状態にすべく、Study 7でも紹介しました真空凍結乾燥法（フリーズドライ）による処置を行いました。そして、固着したページを展開し、本として利用することができる状態にします。ここからの作業は、当館から朝倉市内に設けた修復作業場に移し、朝倉市内在住の作業員さんとともに行いました。

作業は1ページずつ、竹ベラやピンセットなどを使って、紙を丁寧に剥がしていきますが、江戸時代から永く伝えられてきたがゆえ、害虫による虫食い状態になっていて、強度が低下しています。破損しないよう慎重な作業が要求されました。

こうして作業が終了しました。最後に、一冊ずつ点検し、状態を確認していたところ、一人の作業員さんが思わぬ発見をしました。それは、ある書籍の中に、自分の先祖の名前を見つけたのです。詳しく話を聞いてみると、家族や親戚から、「うちの先祖は、三奈木黒田藩に関係していたようだが、家にそれを記した古文書はもう無くなってしまって確かめられない」と言われていたそうです。この発見以後、古い書籍や古文書は、歴史を知ることができる大事なものと気づき、親しみが湧いてきたそうです。

写真2　応急処置が終了した書籍

災害が契機ではありますが、文化財に親しみを持ってくれる方が増えたのですが、それは、地域の文化財を地域の方が直接、手がけたからだと思います。改めて、「地域の文化財は地域で守る」ということの意義を感じることができました。

九州歴史資料館・分館行事予定　令和元年10月～令和2年3月

九州歴史資料館	行事・事業予定
展　示	常　設　展：12月21日(土)～　「歴史の宝石箱」 特　別　展：10月12日(土)～12月 8日(日)「久留米－その歴史と文化－」 企　画　展：12月21日(土)～ 2月24日(月・祝)「船原古墳の世界」 12月21日(土)～ 1月26日(日)「甘木絞り展(仮)」 12月21日(土)～ 1月26日(日)「明治日本の産業革命遺産～筑豊と三池～」 1月29日(水)～ 3月22日(日)「太宰府天満宮境内絵図－版画の絵図にみる江戸・明治－(仮)」 パネル展：9月18日(水)～12月15日(日)「福岡鉄道遺産ものがたり7 筑後地区編」 12月17日(火)～ 3月 1日(日)「記念物100年」 3月 3日(火)～ 3月15日(日) 筑紫地区文化財写真展
古代体験	毎週土・日及び祝日に、九歴ボランティアによる古代体験実施中(予約不要、有料・無料有り)
講座・イベント	講　演　会：11月16日(土)特別展「久留米」開催記念講演会「筑後川流域から見た古代史の展開」 2月中旬　企画展「太宰府天満宮境内図」開催記念講演会 九歴講座：毎月第2土曜日。定員160名。申込不要・11時より整理券配布、13時より開場 10月12日(土)九歴講座⑦「久留米の原始・古代遺跡」 11月 9日(土)九歴講座⑧「神子栄尊と久留米の仏像」 12月14日(土)九歴講座⑨「大宰府史跡調査成果報告(仮)」 1月11日(土)九歴講座⑩「安徳台遺跡ついて(仮)」 2月 8日(土)九歴講座⑪「修験と薬」 3月14日(土)九歴講座⑫「藤原広嗣の乱」 夕べのギャラリートーク：10月25日(金)②特別展「久留米」Part.1近代洋画を中心に 11月29日(金)③特別展「久留米」Part.2 久留米の伝統工芸 2月28日(金)④企画展「太宰府天満宮境内図」 イベント：10月27日(日)特別展開催記念茶会&弓曳き童子実演 11月10日(日)アクロスミュージアムコンサート 11月24日(日)文化財めぐり(10月頃より募集開始) 11月30日(土)古代体験まつり 12月22日(日)ナイトミュージアムin九歴(11月頃から募集開始) 11月21・28日(木)大人の古代組紐講座 2月　甘木絞りのハンカチ作り体験 2月中旬　機織り講座(企画展講演会関連) 2月29日(土)Myおひな様・組紐ストラップ作り
発掘調査	大宰府史跡調査(蔵司地区)・三沢遺跡調査・県内遺跡発掘調査 4月～3月

★日程未定については、決まり次第当館ホームページや館内配布チラシ等でお知らせします。また、内容・開催期間は変更することがあります。詳しくはお問い合わせください。

求菩提資料館 〒828-0085 豊前市大字鳥井畑 247 TEL・FAX 0979-88-3203	常　設　展：「求菩提修験道の世界」 企　画　展：11月 2日(土)～12月 8日(日)求菩提資料館開館45周年特別展「大神楽展～豊前に伝えられた神々の舞」 2月 1日(土)～ 3月22日(日)早春企画展第13回「おひなまつり」 市民歴史講座：10月19日(土)「等覚寺の山岳信仰と彦山六峰」 11月23日(土)「神楽と鬼・その正体を求めて」 史跡ガイド活動：申し込みに応じて豊前市内の史跡をガイドします。
甘木歴史資料館 〒838-0068 朝倉市甘木 216-2 TEL・FAX 0946-22-7515	常　設　展：第一展示室「朝倉の民俗・歴史資料」/第二展示室「朝倉の考古資料」 企　画　展：10月 5日(土)～12月 8日(日)秋季企画展「神仏への祈り－朝倉の古代寺院と信仰遺品－」 記念講演会　10月20日(日)14:00～16:30　ピーポート甘木　定員100名(要申込) 1月 5日(日)～3月 1日(日)新春企画展「郷土の日本画家　徳田玉龍Part.5」 ひみこ講座：「朝倉地域の仏像」全4回:10月14日(月・祝)、11月3日(日)、11月24日(日)、12月8日(日) 「玉龍と富次郎－画家と写真家の兄弟－」2月16日(日)　定員50名(要申込)
柳川古文書館 〒832-0021 柳川市隅町 71-2 TEL 0944-72-1037 FAX 0944-72-5559	常　設　展：12月 4日(水)～ 2月 2日(日)「古文書をたのしむ－見方・読み方・調べ方」 企　画　展：10月 2日(水)～12月 1日(日)「柳川の紀行と実録　江戸～明治の柳川人が歩き、著した文学」 2月 6日(木)～ 3月31日(火)「松井家・立石家のおひな様」 古文書解読講座：毎月1回(第4日曜日)

※各館の行事や休館日(閉室)等については、各館ホームページまたは直接お問い合わせください。

九州歴史資料館
KYUSHU HISTORICAL MUSEUM

〒 838-0106
福岡県小郡市三沢 5208-3
☎ 0942-75-9575
FAX 0942-75-7834
URL http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/kyureki/

開館時間　午前9時30分～午後4時30分(入館は午後4時まで)
観覧料　一般210(150)円　大学生・高校生150(100)円
満65歳以上・中学生以下・
障がいのある方(同伴介護者1名)無料
※土曜日は高校生も無料
※(　)内は団体料金(20名以上)
休館日　月曜日(ただし祝日・振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)

●公共交通機関
《西鉄電車》天神大牟田線三国が丘駅から徒歩約10分
《　JR　》鹿児島本線原田駅からタクシーで約10分
《小郡市コミュニティバス》東野・美鈴が丘ルート「九州歴史資料館」下車
西鉄三国ヶ丘駅西口から約3分(9:57・15:09)
日祝運休

●自動車
《九州自動車道》筑紫野 I.C. から鳥栖筑紫野道路経由で約15分
《大分自動車道》筑後小郡 I.C.から国道500号線・県道88号線経由で約15分
《福岡都市高速》水城出口から国道3号線経由で約25分

九歴だより　令和元年年十月(第五十号)

編集・発行　九州歴史資料館　印刷　片山印刷(有)